

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立 旭 中学校
校長 岩本 真琴

中学校区におけるめざす子ども像

「自ら課題を見つけ仲間とともに 未来を創り出す子ども」

令和8年度 重点目標

【組織目標】 チーム力を発揮し、家庭・地域・関係機関とともに子どもを育てる

【教育目標】 主体的・協動的な学びを通して「総合的な学力」を育む

「確かな学び」の現状

授業は静謐な環境が整っており、生徒も前向きに学習に取り組んでいる。しかし学校全体の総合的な学力の向上と「自ら課題を見つけて学習する」という主体的に学ぶ姿勢に課題がある。継続して生徒が主体的に学ぶことができる授業について研究を進めるとともに、ICTを積極的・効果的に活用した指導法の開発や個々の課題に応じた指導法の工夫改善に取り組む。

「豊かな心・健やかな体」の現状

違う考えを受け入れたり相手の気持ちを考えて行動したりできる生徒が多いが、様々な年代の方々との交流や様々な取り組みを通して多様性の理解を推進し、「豊かな心」の育成をめざす。生徒指導事案については、今後も関係諸機関と連携して継続し、きめ細やかな対応をしていく。不登校支援として step ルームを開設し学びの場の提供に取り組む。また、家庭や地域と連携し、運動習慣の確立や規則正しい生活習慣、食習慣の確立をめざす。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗 状況	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	総合的な学力の育成	基礎・基本となる学力の定着 探究的な学びの推進	ICTを効果的に活用し、効率よくわかりやすい授業を行う。 ●★外国語・外国語活動においてNS、ICTなどを最大限活用するとともに、アウトプットの機会を創出し、言語活動を充実させ、英語力の向上を目指す。 ★小中9年間を通じた「堺学」や教科横断的な学習で探究的な学習活動に取り組み、自ら課題を見つけ解決する力を育む。	「先生は効果的にICTを活用した授業をしている」と回答する生徒の割合が経年比で昨年以上 学力調査における平均正答率が経年比で昨年以上 「地域や社会に向けて自分にできることはないか考えることがある」肯定的回答80%以上	アンケート 学力調査など	年度末 年度末 年度末			
	授業改善	「主体的・対話的で深い学び」による能動的学習の推進	●生徒の学びを深められるように、月1回の授業改善のための教員研修を実施し、すべての子どもが主体的に学びに向かうよう、授業を改善に取り組む。 ●生徒が自分の考えを表現したり発表したり、他者の発表を聞けるように工夫・改善した授業を行う。	「授業はよくわかる」と回答する生徒の割合が経年比で昨年以上 公開授業の実施肯定率各57%以上	アンケート アンケート	年度末 年度末			
豊かな心・健やかな体	心の教育・夢の実現	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する	●★学校群で小中の教員が連携を密にし、生徒の情報共有や生徒理解を深め、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図る。	学期ごとのアンケートで「いじめはいけない」と回答する生徒の割合の向上	アンケート	毎学期			
			特別支援教育、国際理解教育、道徳教育等の充実に努め、多様性の理解を推進するとともに豊かな人権感覚を育む教育を推進する。	アンケートで「相手の気持ちやその場の状況を考えて行動する」と回答する生徒の割合が80%以上	アンケート	年度末			
			キャリア教育を充実させ、生徒が自らの将来について展望をもって進路選択が出来るようにする。	「将来の夢や希望を持っている」と回答する生徒の割合が経年比で昨年以上	アンケート	年度末			
地域連携	信頼される学校づくり	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域とともに歩むチーム学校づくりを進める	学校HP、tetoru等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。またオープンスクール等で積極的に学校の様子を公開する。	アンケートで「学校での様子がよくわかる」と回答する割合が80%以上	アンケート	年度末			
			地域人材を積極的に活用したり、地域の活動を生徒が知る機会を増やしたりする。	地域との活動を年1回以上行い、生徒が地域のことを知る機会を増やす。	実施状況	年度末			

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)